

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

事業名 ソフトピアジャパン・ドリーム・コア空調設備二期更新工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部産業デジタル推進課 IT拠点活用推進係 電話番号：058-272-1111(内3723)

E-mail：c11356@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 255,729 千円 (前年度予算額： 8,550 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	8,550	0	0	0	0	0	0	7,600	950
要求額	255,729	0	0	0	0	0	0	230,100	25,629
決定額	255,729	0	0	0	0	0	0	230,100	25,629

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

ドリーム・コアは建築から23年以上が経過し、経年劣化により全体的に空調設備の不具合が発生している。(随時、指定管理者にて応急処置にて対応)

製造メーカーからの部品供給が終了しているのに加えて、冷媒となるフロンガス(R22)が2019年末に生産が終了したため、故障時には修理が困難な状態であり速やかな対応が必要である。

4階入居スペースは既に一部の空調設備が故障しているが、4階及び5階の空調設備(天井空調)は配置が悪く分割しての利用出来ないため、4階入居スペース全体が利用できない状態である。

4階及び5階入居スペースの空調設備については、配置を変更※し分割しての利用を可能とすることで、故障時を含めた維持管理や入居企業からの細かいニーズにも対応が可能となり、更なる入居促進に寄与する。※室内工事が必要

また、3年前に実施した屋上の防水工事では、空調設備(室外機)が設置された区域の施工ができなかったため、空調設備(室外機)の更新に伴い当該区域の防水工事を施工する必要がある。

(2) 事業内容

冷温水発生器及びエアハンドリングユニットの老朽化に伴う更新工事

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	169	
消耗品費	214	
燃料費	214	
役務費	169	
工事請負費	254,963	
合計	255,729	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画

Ⅲ 各分野のDX

10 産業・労働

Ⅲ 各分野のDX

- (1) デジタル化の段階に応じた支援によるデジタル技術活用の裾野拡大
- (3) デジタル産業の強化・誘致

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

冷温水発生器及びエアハンドリングユニットを更新するとともに、更なる入居の促進を図るため、更新に伴い空調システムの見直しを図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

施設設備等の更新工事であり、具体的な達成目標を設定できない。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和5年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 中長期保全計画で策定した修繕は、大規模な修繕を中心に先送りされ、機能維持が難しい設備も出てきており、待ったなしの段階である。施設運用面での課題や大規模設備の状況把握を行い、計画的に施設運営や修繕を実施する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 施設の利用率や不具合の影響度などから優先順位を決め、順に維持する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】